


介護・福祉ネットみやぎ速報

発行者 NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ
 責任者 渡辺 淳子
 ☎ 022-276-5202 022-276-5205 

●NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ 「2019年度総会&記念講演」を開催しました！

6月18日（火）13時00分よりフォレスト仙台第2フォレストホールにおいて、「2019年度総会」が正会員36人（本人出席29人・書面議決書7人）の参加で開催されました。

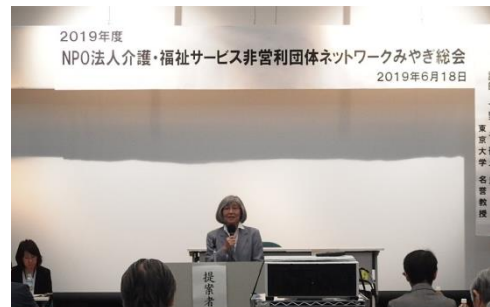
内館昭子理事長の開会挨拶の後、来賓を代表して、宮城県保健福祉部長寿社会政策課介護政策専門監田代浩一様よりご挨拶がありました。また、宮城県社会保障推進協議会会長刈田啓史郎様より総会へのメッセージをいただきました。

議案は、第1号議案2018年度事業報告承認の件、第2号議案2018年度決算報告承認の件、第3号議案2019年度事業計画及び活動予算決定の件について、渡辺淳子理事から一括して提案を行い、全議案とも満場一致で採択承認されました。議案採択に引き続いて、総会決議（案）が提案され、出席者全員の拍手で採択されました。

総会に先立ち、総会記念講演として、『最期までおうちでいたい～介護職にできること』と題し、東京大学名誉教授上野千鶴子氏よりご講演いただき、150人を上回る参加者となり、会場は満席となりました。

我が国は急速な少子高齢化に直面しています。独居高齢者が急増し、医療や介護、終末期問題など老いの生き方そのものが問われています。「介護が必要になっても、自宅で過ごしたい」、「自宅で最期を迎えたい」と考える高齢者が8割以上に上るとも言われている中、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続け、最期を迎えるには何が必要でどのような方法や問題があるのか？高齢者の介護や看取りに関して数多くの先進事例をご研究されている上野先生より、老いの生き方や在宅死の迎え方、そしてケアを受ける人やケアをする人のあり方についてご講演いただきました。ご講演では、自分らしい暮らしを続け、最期を迎えるには、どんな老後を選ぶのか自分の意思決定が最も大切であること。また、「在宅ひとり死」の条件として、自己の意思が反映され、自己解放ができ、他人にゆだねる力をもち、弱さと依存を認めることがとても重要であり、このことを可能にするには、専門職による医療と介護の連携が必要であるとお話いただきました。

最後に利用者を支える介護従事者の処遇について触れられ、「制度と権利は向こうからやっこない。地位と労働条件を上げるには、もっと大きな声で情報発信してほしい。介護にかかわる人の地位向上も利用者の幸せにつながる」と強く訴えられました。



総会 内館昭子理事長の挨拶



記念講演会 講師
 東京大学名誉教授 上野千鶴子氏